

第4次
加東市人権尊重のまちづくり実施計画

【令和7(2025)年度～令和11(2029)年度】

令和7(2025)年3月

加東市

目次

第1章 基本的事項	1
1 計画策定の目的	1
2 計画の位置づけ	1
3 計画の期間	1
4 計画の構成	1
5 計画の進行管理と評価	1
第2章 様々な人権課題に対する取組	2
1 部落差別	2
2 女性	4
3 子ども	5
4 高齢者	11
5 障害のある人	13
6 外国人	14
7 性的少数者	14
8 HIV感染者・ハンセン病患者等	15
9 刑を終えて出所した人	15
10 犯罪被害者等	15
11 インターネットによる人権侵害	16
12 アイヌの人々	16
13 生活困窮や社会から疎外された人々	17
14 安心して働ける職場環境	17
15 災害時における人権への配慮	17
16 自殺対策	18
第3章 人権施策の総合的、効果的な推進のための取組	19
1 団体別研修	19
2 講演会、広報・啓発活動	21
3 相談事業	22
4 進捗管理	23

第1章 基本的事項

1 計画策定の目的

令和2(2020)年3月に、新たに顕在化してきている人権問題や第1次加東市人権尊重のまちづくり基本計画での取組の成果と課題、市民の人権意識の現状などを踏まえ、人権教育、啓発の取組を引き続き充実させていくために、「第2次加東市人権尊重のまちづくり基本計画」(以下「第2次基本計画」という。)を策定しました。

第2次基本計画の行動計画である「第3次加東市人権尊重のまちづくり実施計画」が令和6(2024)年度に目標年度を迎えるため、国、兵庫県の動向等を踏まえて、この「第4次加東市人権尊重のまちづくり実施計画」(以下「第4次実施計画」という。)を策定し、第2次基本計画に基づく具体的な事業を、総合的かつ計画的に推進します。

2 計画の位置づけ

第4次実施計画は、第2次基本計画の理念や取組の方向を具現化するために、個別事業について定めたものです。第4次実施計画に示す個別事業は、具体的に進め実施する、人権に関わる重要事業として位置づけます。

3 計画の期間

第4次実施計画の期間は、令和7(2025)年から令和11(2029)年度までの5か年とします。ただし、計画期間中においても、国内外の動向や社会情勢などを踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

4 計画の構成

第4次実施計画は、加東市総合計画や市の各種主要計画との整合を図りながら、第2次基本計画の基本理念を実現するため、第2次基本計画の体系にのっとり構成し、必要な事業を整理しています。

5 計画の進捗管理と評価

第4次実施計画における毎年度の取組の進捗状況や実績、成果指標の達成度や取組内容の管理については、「加東市人権施策推進連絡会議」により行い、点検と評価については、人権施策の調査審議を所掌事務とする外部組織「加東市人権問題審議会」により行います。

第2章 様々な人権課題に対する取組

1 部落差別

「本人通知制度」の登録促進(担当課:市民課)

目的	住民票や戸籍等の証明書の第三者による不正請求を抑止するため、本人通知制度への理解及び個人情報の重要性について関心を高める。					
内容	住民票等の証明書を第三者に交付した場合に、この制度の登録者あてに通知することで、不正請求の疑いがある事案の早期発見と早期対応につながる。					
指標 (単年度)	「本人通知制度」の新規登録者数(人)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	35	45	50	55	60	65

地域に学ぶ体験学習支援事業 小学生じんけん教室の実施(担当課:人権協働課)

目的	人権課題の解決に向けた、小学生の意欲と態度を育成する。					
内容	地域の人権問題に関係する体験学習や交流活動等、人権課題の解決に向けての活動を総合的に実施する。					
指標 (単年度)	アンケートで内容に大変満足と回答した児童の割合(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	74.2	75	76	77	78	79

地域に学ぶ体験学習支援事業 人権ジュニアリーダー学級の実施(担当課:人権協働課)

目的	人権課題の解決に向けた、中学生の意欲と態度を育成する。					
内容	地域の人権問題に関係する体験学習等、人権課題の解決に向けての活動を総合的に実施する。					
指標 (単年度)	アンケートで内容に大変満足と回答した生徒の割合(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	79.3	81	82	82	84	85

人権教育スキルアップ研修の実施(担当課:学校教育課)

目的	児童・生徒の人権意識を高めるための授業づくりや指導力の向上に役立てる。					
内容	主に人権教育担当や経験年数15年未満の教職員を対象に、フィールドワークの実施や人権関連施設の見学、講師による講話等を行う。					
指標 (単年度)	研修参加者数(人)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	12	13	14	15	16	16

広域隣保活動事業の推進(担当課:人権協働課)

目的	地域住民の生活改善及び福祉向上を図るとともに、市民の人権課題に対する理解を深める。					
内容	相談事業、啓発・広報活動事業、地域交流事業、地域福祉事業を総合的に実施する。					
指標 (単年度)	広域隣保活動事業延べ参加者数(人)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	202	130	140	150	160	170

加東市人権・同和教育研究協議会 学校教育部会の開催(担当課:学校教育課)

目的	学校・園の公開授業、保育及び研究協議を通して、人権・同和教育の指導について意見交流をし、教職員の人権意識を高める。					
内容	前年度の活動報告、公開保育(幼・保)、公開授業(小・中)を実施し、年度末に活動の総括を行う。					
指標 (単年度)	学校教育部会の開催回数(回)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	5	5	5	5	5	5

2 女性

男女共同参画セミナーの実施(担当課:人権協働課)

目的	男女共同参画に対する理解を深めるとともに、固定的な性別役割分担意識の見直しや女性活躍の推進を図る。					
内容	男女共同参画を推進するために、講演会や実践的なセミナー等を実施する。					
指標 (単年度)	参加者数(人)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	71	81	86	91	96	101

各種審議会等への女性委員の登用促進(担当課:全課)

目的	政策や方針決定過程への女性参画を進め、女性の意見や考えを施策に反映させる。					
内容	会議開催時に託児を設ける等、女性委員が会議に参加しやすい環境づくりに努め、審議会、委員会等での女性登用を促進する。					
指標 (単年度)	審議会、委員会等における女性委員の割合(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	26.6	27	28	29	30	31

デートDV防止教育・啓発の実施(担当課:福祉総務課)

目的	男女が互いの尊厳を重んじ、自立し、対等な関係づくりを進める。					
内容	交際相手と互いの人権を尊重しあう関係を築くことができるよう、市内の中学校にて、デートDV防止授業を実施する。					
指標 (単年度)	デートDV防止授業の実施回数(回)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	3	4	4	4	4	4

女性のための相談窓口の実施(担当課:福祉総務課)

目的	夫婦や家庭、子育ての悩み等の相談に応じることにより、女性を支援する。					
内容	専門の相談員が、夫婦間や子どもの件等の相談に応じ、適切な機関等につなげる。					
指標 (単年度)	相談から適切な機関等につなげた件数の割合(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	38.9	42	44	46	48	50

3 子ども

園児による共同作品展の開催(担当課:人権協働課)

目的	相手の立場を考えながら助け合うことや命の大切さなどを感じる機会とする。また、啓発展を実施し、市民が人権の重要性について考える機会とする。					
内容	「みんな友達」、「たのしいなかま」、「みんななかよし」等のテーマで園児が共同作品を制作し、啓発展を行う。					
指標	アンケートで園児の人権意識が高まったと回答した園の割合(%)					
(単年度)	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	67(R4)	76	76	76	76	84

人権標語・ポスターの展示(担当課:人権協働課)

目的	小・中学生が人権について考え、青少年期における人権意識高揚の機会とする。また、作品展を実施することで、市民が人権の重要性について考える機会とする。					
内容	市内の小・中学生が、様々な人権課題に対し標語・ポスターを制作し、啓発展で展示する。					
指標	アンケートで児童・生徒の人権意識が高まったと回答した学校の割合(%)					
(単年度)	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	100	100	100	100	100	100

子育てに関する相談体制の充実(担当課:福祉総務課)

目的	子育てに不安を抱える親が安心して利用できる相談体制の構築を図り、核家族化や支援者の不在などによる親の孤立化などに対応する。					
内容	子育てスマイルセンターが子育ての悩みや心配ごとについて、窓口や訪問、電話での相談に応じる。					
指標	支援を必要とする親や児童への対応割合(%)					
(単年度)	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	94	95	95	95	95	95

児童虐待防止の啓発(担当課:福祉総務課)

目的	児童虐待防止のための啓発活動を実施し、市民に虐待問題について関心を持ってもらうことで、市民ネットワークを充実させ、虐待のない社会をめざす。					
内容	児童虐待防止推進月間に、オレンジリボンキャンペーン等を実施し、児童虐待予防や相談窓口の周知啓発を行う。					
指標	啓発活動件数(件)					
(単年度)	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	5	5	6	6	6	6

親子の健康づくりに関する事業の充実(担当課:健康課)

目的	子どもの健やかな成長発達や望ましい生活習慣を育むとともに、相談事業を実施することにより、保護者のこころの健康支援に努める。					
内容	乳幼児健診や相談等を実施し、適切な時期に子どもの成長発達の確認を行うとともに、保護者の相談の場の確保や育児能力向上への支援を行う。					
指標 (単年度)	「子育て何でも相談」を知っている人の割合(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	76.5	77.2	77.9	78.6	79.3	80

特別支援教育支援員の適正配置(担当課:教育総務課)

目的	特別支援学級等に在籍する障害のある児童・生徒一人ひとりに応じた教育的支援を行い、良好な学校生活につなげる。					
内容	特別支援学級において、児童の移動、衣服の着脱、食事、排便、階段昇降等の学校生活に係る介助業務を行う支援員を配置する。					
指標 (単年度)	必要な介助員数を配置できた割合(充足率)(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	93.4	95	96.5	98	99.5	100

小学生チャレンジスクールの実施(担当課:生涯学習課)

目的	学校外で異年齢集団での各種活動を通じて、青少年の健全育成を図る。併せて、体験活動を通して、親子や友達同士のつながりを深めるとともに、様々な事へチャレンジする精神を養う。					
内容	野外活動や製作活動を行う。					
指標 (単年度)	参加児童の満足度(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	96.2	96.2	96.4	96.6	96.8	97

地域子ども教室の実施(担当課:生涯学習課)

目的	地域の人々と接する機会を作り、つながりを広めることで心豊かな子どもたちを育む。					
内容	放課後に、地域の方や兵庫教育大学の学生等の指導者が、子どもたちと学習や遊びを通して触れ合う。					
指標 (単年度)	参加児童の満足度(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	—	66	67	68	69	70

いじめ問題対策連絡協議会の開催(担当課:学校教育課)

目的	いじめの防止等に関係する機関及び団体の連携の推進に関し、必要な事項を協議するとともに、当該機関及び団体相互の連絡体制を図る。
内容	いじめ問題等に対応する外部の関係機関と情報交換を行い、連携を図る。

※定例的に開催される会議のため、指標は設定しません。

児童・生徒のいじめに関する実態把握調査の実施(担当課:学校教育課)

目的	いじめの早期発見・早期解決を図る。					
内容	各学期に1回以上、全校生対象に実態把握調査を行う。記述があった児童・生徒には聞き取りを行い、問題の早期解決を図る。					
指標 (単年度)	各学校でいじめ等に関する実態調査を実施した回数(回)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	-	3	3	3	3	3

教育支援センターの設置(担当課:学校教育課)

目的	教育支援センターでの生活を通じて、対人関係の構築スキルを獲得するとともに、生活リズムや情緒の安定を図り、登校や社会的自立ができる素地を養う。
内容	自分なりの学習、集団での運動、体験活動等を実施する。

※事業効果の数値化が難しいため、指標は設定しません。

スクールカウンセラーの技能習得の推進(担当課:学校教育課)

目的	カウンセラーからの研修を行うことにより、教職員は新たなカウンセリング技法を、児童・生徒は心の安定を図る方法等を習得する。					
内容	カウンセリングマインド研修、アングーマネジメント研修、人間関係作り研修等を実施する。					
指標 (単年度)	アンケートによる満足度(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	-	70	70	70	70	70

スクールソーシャルワーカー等による支援(担当課:学校教育課)

目的	児童・生徒の心理的、情緒的課題や児童虐待等の学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、学校と外部福祉関係機関とのネットワークの構築や保護者への支援等、児童・生徒が置かれた環境にはたらきかけ、状況の改善を図る。					
内容	スクールソーシャルワーカー等が保護者等の相談、関係機関への働きかけを行い、状況の改善を図る。					
指標 (単年度)	スクールソーシャルワーカー等が対応した不登校生の割合(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	-	100	100	100	100	100

人権・道徳教育の充実(担当課:学校教育課)

目的	「特別の教科 道徳」の授業研究や校内研修を実施し、各学校における道徳教育を牽引する人材を育成する。					
内容	加東市の研究指定校では県が行う道徳の授業スキルアップ支援プログラムを活用して、研修を実施する。他校では、校内研修を年1回以上実施する。					
指標 (単年度)	人権または道徳教育の校内研修実施校の割合(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	100	100	100	100	100	100

小学校人権教育講演会の開催(担当課:学校教育課)

目的	一人ひとりが、生命を大切にし、自他の人格を尊重し、互いの個性を認めあう心、他人の痛みがわかる心等、豊かな人間性を育成するとともに、自立心や責任感を培う。					
内容	市内小学生を対象に講演会を行う。					
指標 (単年度)	参加者アンケートの「大変満足」回答率(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	62.8	64	66	68	69	70

地域に学ぶトライやる・ウィークの実施(担当課:学校教育課)

目的	豊かな感性や創造性等を高めるとともに、他者と協力・協働して社会に参画する態度や自ら考え主体的に行動し問題を解決する能力等を育成する。また勤労体験から、地域に学び共に生きる心や感謝の心を育み、自律性を高める等、「生きる力」の育成を図る。					
内容	中学校2年生(義務教育学校8年生)において、市内の事業所を中心に、5日間の職業体験を行う。					
指標 (単年度)	「自分の考えや行動に影響があった」と回答した生徒の割合(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	66.4	70	73	75	78	80

サポートファイルの活用(担当課:発達サポートセンター)

目的	配慮や支援が必要な子どもへ切れ目のない支援を行う。					
内容	特別支援教育コーディネーターを対象としたサポートファイルの活用に関する会議を行う。					
指標 (単年度)	会議の開催回数(回)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	2	2	2	2	2	2

保育所等の運営(担当課:こども教育課)

目的	集団での生活や遊びの中で、人に対する愛情や互いを思いやる心を育て、豊かな感性を育むことで健やかな成長を促す。					
内容	保育所及び認定こども園において、生活や遊びの体験を通して、心身の調和のとれた発達を図るための幼児教育を提供する。					
指標 (単年度)	教育の機会の提供(3～5歳児の待機児童数)(人)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	0	0	0	0	0	0

幼児期人権教育の推進(親子セミナー)(担当課:こども教育課)

目的	幼児期に「やさしさ」や「思いやり」といった心を育み、絶対人権感覚を培う。					
内容	保育所・認定こども園で親子を対象とした幼児期人権教育親子セミナーを開催し、人権尊重を学ぶ機会を設ける。					
指標 (単年度)	親子セミナー受講者数(組)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	65	66	66	66	66	66

幼児期人権教育の推進(指導者養成セミナー)(担当課:こども教育課)

目的	指導者としての資質向上を図り、幼児の発達段階に応じた人権教育を実践する。					
内容	保育士・保育教諭が「絶対人権感覚」や幼児期の発達段階についての理論を学び、園内で人権啓発プログラムを実施できるよう指導者養成セミナーを開催する。					
指標 (単年度)	人権啓発プログラム実施施設の割合(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	100	100	100	100	100	100

地域子育て支援拠点の確立(担当課:こども教育課)

目的	安心して子育てができるよう、保護者の子育ての孤立化や子育ての不安・負担感を軽減する。					
内容	地域子育て支援拠点において、子育て中の親子の相互交流や子育ての不安・悩みを聞く相談事業等を提供する。					
指標 (単年度)	子育て及び子育て支援に関する講座等の実施回数(回)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	125	127	129	131	133	135

多様な保育サービスの提供(担当課:こども教育課)

目的	固定的な性別役割分担意識にとらわれず、様々な分野における女性の参画や、仕事と子育ての両立を支援する。					
内容	一時預かり、延長保育、休日保育、病児・病後児保育、放課後児童健全育成事業、ファミリー・サポート・センター事業等の多様な保育サービスを提供する。					
指標 (単年度)	新たな一時預かりサービス事業数(事業)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	-	0	1	1	1	1

4 高齢者

認知症サポーター養成講座の開催(担当課:高齢介護課)

目的	認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守るサポーターを増やす。					
内容	認知症の病態理解と対応方法等についての講座を開催する。					
指標 (単年度)	認知症サポーター養成講座の開催回数(回)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	6	6	6	7	7	8

高齢者虐待防止ネットワークの構築(担当課:高齢介護課)

目的	関係機関の連携強化を図り、高齢者虐待の防止、早期発見及び早期解決ができるようネットワークを構築する。					
内容	高齢者虐待防止ネットワーク会議及び研修を開催し、ネットワークの連携強化を図る。					
指標 (単年度)	高齢者虐待防止ネットワーク会議及び研修の開催回数(回)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	2	2	2	2	2	2

総合相談の実施(担当課:高齢介護課)

目的	地域に住む高齢者からさまざまな相談を受け、それを適切な機関・制度・サービス・地域資源につなぎ、必要に応じて継続的にフォローする。					
内容	地域包括支援センターや身近な相談窓口等で、高齢者の生活や介護などについて、窓口や訪問、電話での相談に応じる。					
指標 (単年度)	相談件数(件)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	6,355	6,380	6,410	6,440	6,470	6,500

権利擁護事業の推進(担当課:高齢介護課)

目的	成年後見制度の普及、啓発、消費者被害の防止に向けた啓発を実施し、高齢者の尊厳ある暮らしを守る。					
内容	ケーブルテレビや広報紙等を通じて、成年後見制度の周知を図る。					
指標 (単年度)	周知の回数(回)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	2	2	2	2	2	2

「小地域福祉活動」の推進(担当課:社会福祉協議会)

目的	住民が身近な暮らしの場で生活課題に気づき、たすけあい活動が行えるよう、地域の福祉力を高め、だれもが安心して暮らせるまちづくりを目指す。					
内容	活動者の情報交換の場づくりや、社会情勢に沿った連絡会・研修会を実施する。					
指標 (単年度)	実施地区数(地区)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	79	79	82	89	90	95

5 障害のある人

障害に関する理解の促進(担当課:社会福祉課)

目的	「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行に伴い、障害のある人に「合理的配慮」を行うことを通じて、「共生社会」を実現することをめざす。					
内容	職員が障害の特性を理解するとともに、障害者差別解消職員対応マニュアルの活用等により、障害のある人に対し適切に対応するための研修を実施する。					
指標 (単年度)	障害者差別解消職員対応研修開催回数(回)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	1	1	1	1	1	1

道路のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進(担当課:土木課)

目的	障害のある人が地域の中で安心して生活するために、道路整備の際は、バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を考慮する。					
内容	歩道を整備する際は、セミフラット型とすることや、車いすと人が並列に通行できるように、幅員を確保する。					

※道路を整備する際の方針であるため、目標値は設定していません。

発達障害に関する市民研修の開催(担当課:発達サポートセンター)

目的	市民の発達障害に関しての理解を深める。					
内容	市民を対象とした発達障害に関する研修を行う。					
指標 (単年度)	参加者数(人)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	111	113	114	115	116	117

発達サポートセンターでの相談の実施(担当課:発達サポートセンター)

目的	発達に関する悩みを抱える保護者等の精神的負担の軽減を図る。					
内容	子どもの発達に関する相談を行う。					
指標 (単年度)	「子どもの発達・何でも相談」の相談件数(件)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	377	377	377	377	377	377

6 外国人

国際交流の推進(担当課:人権協働課)

目的	市民の国際感覚の醸成と外国人との共生意識の高揚を図る。					
内容	加東市国際交流協会と連携し、姉妹都市や在住外国人との交流事業を実施する。					
指標 (単年度)	国際交流事業参加者数(人)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	1,028	1,050	1,060	1,070	1,080	1,090

在住外国人への生活支援の推進(担当課:人権協働課)

目的	外国人が暮らしやすい環境づくりを推進するとともに、在住外国人の社会参加を促進する。					
内容	加東市国際交流協会と連携し、相談事業や日本語教育支援、生活情報の提供等の生活支援を行う。					
指標 (単年度)	相談事業のアンケートで満足した(「満足」「まあ満足」と回答した割合(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	94.3	95	95	96	96	97

多文化共生サポーターの配置(担当課:学校教育課)

目的	日本語指導が必要な外国人児童・生徒に対し、学校生活への早期適応を促進するため、多文化共生サポーター等を配置する。					
内容	多文化共生サポーターや多言語相談員、こども日本語支援員を小中学校に派遣する。また、入国1年が経過した児童・生徒のうち、サポーターによる支援がさらに必要な場合に追加配置を行う。					
指標 (単年度)	多文化共生サポーターの適正配置率(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	100	100	100	100	100	100

7 性的少数者

性的少数者に関する理解促進(担当課:人権協働課)

目的	性的少数者に対する偏見や理解不足から生まれる差別等の解消を図る。					
内容	人権啓発情報誌等で性的少数者の方々に対する理解を促進する啓発を行う。					
指標 (単年度)	人権啓発情報誌等での啓発回数(回)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	2	2	2	2	2	2

8 HIV感染者・ハンセン病患者等

感染症に対する正しい知識の普及、啓発(担当課:健康課)

目的	病気の正しい知識を普及、啓発することで、理解を深め、偏見や差別意識をなくす。					
内容	ハンセン病、HIV等について正しい理解を促すポスターを掲示したり、広報紙で、HIV抗体検査、肝炎ウイルス検査、梅毒検査の実施を促したり、相談窓口を周知する。					
指標 (単年度)	広報紙掲載回数(回)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	12	12	12	12	12	12

9 刑を終えて出所した人

再犯防止に関する啓発(担当課:人権協働課)

目的	犯罪、非行の防止や罪を犯した人の立ち直りを支える社会をつくる。					
内容	小野・加東保護区保護司会等と連携し、7月の「社会を明るくする運動」強調月間に啓発活動を行う。					
指標 (単年度)	「社会を明るくする運動」街頭啓発活動回数(回)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	1	1	1	1	1	1

10 犯罪被害者等

犯罪被害者への支援の推進(担当課:防災課)

目的	犯罪被害者等が受けた被害の回復及び軽減に向けた施策の推進並びに犯罪被害者等を支える地域社会の形成を図る。					
内容	犯罪被害者への理解を深めるため、犯罪被害者等が置かれている状況及び犯罪被害者等を地域で支え合うことの重要性について、犯罪被害者週間に合わせて、広報、啓発を行う。					
指標 (単年度)	広報紙掲載回数(回)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	1	1	1	1	1	1

11 インターネットによる人権侵害

インターネットモニタリングの実施(担当課:人権協働課)

目的	インターネット上で差別を助長する書き込み等の監視を行うことで、差別書き込みの防止を図る。					
内容	インターネットモニタリング従事者がスキルアップを目的とした研修を受講する。					
指標 (単年度)	インターネットモニタリングに関する研修の受講回数(回)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	2	2	2	2	2	2

ネット見守り隊による情報モラルの向上(担当課:学校教育課)

目的	児童・生徒とその保護者が、ともに情報モラルを学び、スマートフォン等でのインターネット利用に関する情報モラルの向上を図る。					
内容	学校と保護者が密接に連携しながら、児童・生徒の発達段階に応じたインターネット上のルールやマナーを守る指導を積極的に行う。					
指標 (単年度)	児童・生徒、保護者向け情報モラル学習会の実施回数(回)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	-	10	10	10	9	9

12 アイヌの人々

アイヌの人々に関する啓発(担当課:人権協働課)

目的	アイヌの人々に対する偏見や理解不足から生まれている差別の解消を図る。					
内容	人権啓発情報誌等でアイヌの人々に関する啓発を行う。					
指標 (単年度)	人権情報啓発誌等での啓発回数(回)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	1	1	1	1	1	1

13 生活困窮や社会から疎外された人々

ひとり親等への福祉支援(担当課:福祉総務課)

目的	ひとり親家庭の主体的な能力開発を支援し、母子及び父子家庭の自立促進を図る。					
内容	資格取得などに向けて、自立支援教育訓練等を受けるひとり親に対して、給付金を支給する。					
指標 (累計)	自立支援教育訓練給付金等支給者数(人)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	4	7	9	11	13	15

就労準備の支援(担当課:社会福祉課)

目的	就労に必要な社会性や基礎能力の形成を図ることにより、正規就労につなげ、自立を促進する。					
内容	長く就労から離れ、金銭的に困窮している人が、円滑に就労できるように必要な基礎能力や生活リズムの形成を図ることで、自立するための支援を行う。					
指標 (累計)	就労準備支援事業利用者数(人)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	21	24	27	30	33	36

14 安心して働ける職場環境

加東市企業人権教育協議会活動の推進(担当課:人権協働課)

目的	市内事業所において、人権が尊重される職場環境を拡大する。					
内容	人権尊重意識の高い職場づくりや雇用・労働条件などの就労環境の整備を促すために、協議会加入を市内事業所に働きかける。					
指標 (単年度)	協議会加入事業所数(社)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	91	92	93	93	94	94

15 災害時における人権への配慮

かとう安全安心ネットの登録推進(担当課:防災課)

目的	災害時要援護者等に対して、人権に配慮した支援体制の確立に努めるとともに、災害から身を守るために、情報を伝達する。					
内容	かとう安全安心ネットの登録を促進する。					
指標 (単年度)	かとう安全安心ネットの登録者数(人)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	7,185	7,200	7,250	7,300	7,350	7,400

16 自殺対策

自殺予防の推進(担当課:健康課)

目的	市民一人ひとりが、こころの健康の重要性を認識し、かけがえのない「命」を大切にする意識を育むことにより、自殺を防ぐ。					
内容	こころの健康づくりネットワーク研修を実施し、悩みを抱えている人に気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなげるゲートキーパーの養成を行う。また、こころの健康について正しい知識の普及啓発を行うとともに、相談窓口の周知・啓発を行う。					
指標 (累計)	こころの健康づくりネットワーク研修の受講者数(人)					
	基準値 R1(2019)～ R5(2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R7(2025)～ R11(2029)
	252	60	120	180	240	300

第3章 人権施策の総合的、効果的な推進のための取組

1 団体別研修

市職員研修の開催(担当課:人事課)

目的	全ての市職員が人権尊重の理念を理解し行政運営を行う。					
内容	市職員を対象に、人権に関わる研修を実施する。					
指標 (単年度)	職員の人権研修参加率(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	69.9	71	72	73	74	75

加東市人権・同和教育研究協議会活動の推進(担当課:人権協働課)

目的	あらゆる人権課題を解決するために、地域社会における人権啓発及び学校・園における人権教育の充実と推進を図り、人権文化の創造に努める。					
内容	住民学習推進部会、団体別研修推進部会、学校教育部会それぞれにおいて、人権学習を行う。					
指標 (単年度)	地区住民学習における18歳～64歳の参加者数(人)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	945	950	970	990	1,010	1,030

医療関係者研修の開催(担当課:病院事業部総務課)

目的	専門職業人として資質の向上に努め、より質の高いサービスを提供する。					
内容	看護倫理に基づいた研修等を定期的に行い、患者や患者家族とのより良い関係づくりにつなげる。					
指標 (単年度)	事例検討会をはじめ、倫理及び認知症サポート委員会の開催月数(月)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	12	12	12	12	12	12

教職員モラルアップ・ハラスメント防止研修の開催(担当課:学校教育課)

目的	教職員間におけるハラスメント行為等の防止並びに人権教育研修(性的少数者)を実施することで、教職員の人権感覚を高める。					
内容	全教職員対象のハラスメント防止研修会を開催し、職場のパワーハラスメントやスクールセクシャルハラスメント等について理解を深め、人権意識の高揚を図る。					
指標 (単年度)	研修実施校の割合(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	100	100	100	100	100	100

消防団人権研修の開催(担当課:防災課)

目的	消防団員の人権意識の高揚を図る。					
内容	消防団員を対象に人権研修を実施する。					
指標 (単年度)	人権研修の実施回数(回)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	1	1	1	1	1	1

民生・児童委員人権研修の実施(担当課:福祉総務課)

目的	民生・児童委員の人権意識の高揚を図る。					
内容	民生・児童委員を対象に人権研修を実施する。					
指標 (単年度)	人権研修の実施回数(回)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	0	1	1	1	1	1

シニアクラブ会員人権研修の実施(担当課:社会福祉協議会)

目的	シニアクラブ会員の人権意識の高揚を図る。					
内容	シニアクラブ会員を対象に人権研修を実施する。					
指標 (単年度)	人権研修の実施回数(回)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	1	1	1	1	1	1

2 講演会、広報・啓発活動

人権啓発講演会の開催(担当課:人権協働課)

目的	子どもから高齢者まで、あらゆる年齢層の人々が集い、家庭や学校、地域、職場等における人権課題について学ぶ機会とする。					
内容	様々な人権課題や男女共同参画、多文化共生等をテーマにした講演会等を行う。					
指標 (単年度)	参加者数(人)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	182	190	200	210	220	230

人権を考える市民のつどいの開催(担当課:人権協働課)

目的	人権に関する取組の実践報告を通じて、人権意識の普及高揚を図るとともに、互いが尊重される「共生社会」の実現をめざす。					
内容	小・中学生の人権作文の発表や、加東市人権・同和教育研究協議会の住民学習推進部会及び学校教育部会、加東市企業人権教育協議会、それぞれの取組発表を行う。					
指標 (単年度)	10歳代～40歳代の参加者数(人)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	18	24	27	30	33	36

加東市民人権講座の開催(担当課:人権協働課)

目的	人権尊重のまちづくりを推進するために、地域の人権啓発リーダーを育成する。					
内容	部落差別問題など、様々な人権課題に関する講座を実施する。					
指標 (単年度)	修了者の割合(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	62.2	66	70	74	78	82

人権啓発情報誌「夢きらめいて」の発行(担当課:人権協働課)

目的	日々の生活の中で人権を意識する機会を定期的に提供することで、市民が人権について考えることにつなげる。					
内容	人権に関する情報誌を発行し、全戸に配布する。					
指標 (単年度)	人権啓発情報誌「夢きらめいて」を読んでいる市民の割合(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	46.2	48	50	52	54	56

3 相談事業

人権相談の実施(担当課:人権協働課)

目的	人権侵害を受けている、または受ける恐れのある市民が安心して生活できるよう、相談事業を実施する。					
内容	人権協働課窓口、電話で人権相談を実施する。					
指標 (単年度)	関係機関への引継ぎを望んだ場合の引継率(%)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	-	100	100	100	100	100

心配ごと相談の実施(担当課:社会福祉協議会)

目的	住民からのあらゆる日常生活上の相談に応じ、専門機関との連携により問題解決につなげる。					
内容	相談窓口として総合相談や心配ごと相談を開設する。					
指標 (単年度)	相談件数(件)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	7	7	8	9	10	10

消費者被害の防止及び救済(担当課:生活環境課)

目的	消費者トラブルに対する注意喚起等の消費者教育や消費生活相談を受け付けることにより、消費者トラブルに巻き込まれる恐れが高い若年者や高齢者に対する消費者トラブルの防止及び救済を行う。					
内容	ケーブルテレビやインターネットを使い注意喚起を行う。また、有資格相談員による消費生活相談窓口の体制を維持する。					
指標 (単年度)	消費生活相談の有資格相談員の人数(人)					
	基準値 R5 (2023)	R7	R8	R9	R10	目標値 R11 (2029)
	1	1	1	1	1	1

4 進捗管理

人権施策推進連絡会議の開催(担当課:人権協働課)

目的	各部署との連絡、調整を図りながら、分野ごとの人権施策の推進状況を総合的に検証する。
内容	実施計画における事業の進捗状況を確認する。

※定例的に開催される会議のため、指標は設定しません。

